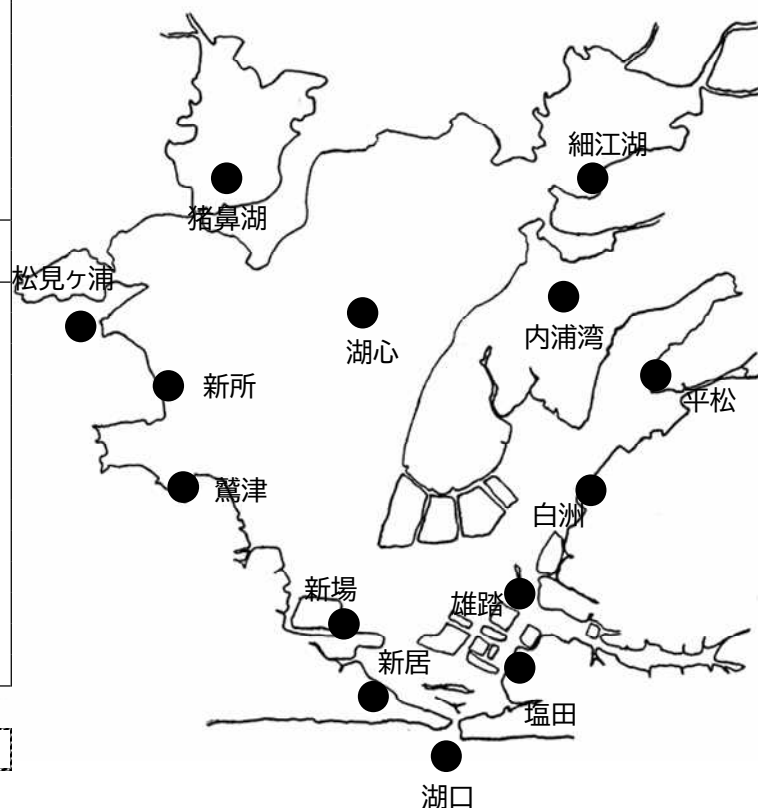


令和7年度 浜名湖プランクトン・海況調査速報 No.3

調査日：6月3日(火)

提供日：令和7年6月4日(水)
静岡県水産・海洋技術研究所浜名湖分場
(TEL 053-592-0139)

地点	水深 (m)	水温 (℃)	塩分	珪藻※	有害・有毒 プランクトン
内浦湾	0.0	21.4	27.6	◎	ディノフィシス属 (10細胞/mL)
	2.0	21.6	29.9		発生なし
	4.0	21.5	28.9		ディノフィシス属 (10細胞/mL)
細江湖	0.0	21.7	25.1	◎	発生なし
	2.0	21.6	29.3		
	4.0	21.1	30.2		
湖心	0.0	21.3	29.1	◎	
	2.0	21.3	29.2		
	4.0	21.2	29.6		
	6.0	21.1	30.9		
猪鼻湖	0.0	21.5	20.2	◎	
	2.0	21.6	22.7		
	4.0	20.5	30.4		
松見ヶ浦	0.0	21.2	28.6	◎	ディノフィシス属 (10細胞/mL)
	2.0	21.5	28.8		
新所	0.0	21.0	29.0	○	発生なし
鷺津	0.0	20.7	29.3	◎	
	2.0	20.8	29.3		
新場	0.0	20.7	31.3	△	
	2.0	21.0	31.4		
平松	0.0	22.4	26.5	◎	
	2.0	22.2	28.6		
白洲	0.0	22.2	25.2	◎	
	1.0	22.4	28.8		
雄踏	0.0	21.2	27.9	○	
塩田	0.0	20.9	28.2	×	
湖口	0.0	21.1	33.4	×	
新居	0.0	21.0	31.6	×	



※ ◎：多い ○：中程度 △：少ない ×：極めて少ない(または無し)

- 松見ヶ浦・内浦湾において、下痢性貝毒原因プランクトン(ディノフィシス属)がわずかに確認されました。調査時点では、問題のある密度ではありませんが、今後の動向に注意が必要です。
- 湖北部を中心に、ヘテロシグマ・アカシオが確認されました。本種は数万細胞/mLまで増殖すると、魚類に影響を及ぼす可能性があります(現在、猪鼻湖で最大4,000細胞/mL)。今後の動向に注意が必要です。
- 珪藻は、湖南部を除き多く確認されました。